令和4年度　施設としての自己評価

長崎 おひさまの森保育園

平素は長崎おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容（今年度の重点）		
・愛着についての理解と愛着形成の実践 ・愛着への理解を深め、年齢・個々に合わせた愛着形成を実践していく	4	ミーティングなどで愛着にいて学び愛着についての理解を深めた。担当制を導入し、特定の保育者と関わることで「自分て愛されるべき存在なんだ」「自分てすごい」が子どもたちの心に育まれ、負の感情を抱いたときにその子を受け入れ認めることを繰り返すことで、人への信頼感を育んできた。保育の基本は愛着関係からと認識して保育を行うことができた。
・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践 年齢ごとの育ちや、個々に適した声掛けとは何か常に考え、意欲に繋がる言葉がけを実践していく	4	子どもの人権、尊厳を学び、否定的な言葉は使わず、個を認める言葉がけで関わることを実践して来た。今、どんな言葉をかけることが意欲に繋がるのか、自身へと結びつくのかを常に意識して関わり声をかけることで主体性を育てることにも繋がった。
●施設設備		
・保育室環境について 安全で快適な保育環境を保ち、歳児ごと育ちに適した室内環境を整えていく	3	ミーティングなどで各年齢、月齢に合わせ今の興味や発達においてどんな玩具や環境が必要かを考え、環境設定を行った。また、話し合いを実践に生かし、子どもたちの発見や保育者や友だちと共感しあえる環境の中で保育を行った。
・園周辺環境の活用について 地域の特性や環境を理解し、保育に取り入れ活かしていく	3	地域の環境を理解したうえで、お散歩マップを作成し、園周辺の広場や神社などへの散歩や園外活動を通し五感を使いながら、季節の移り変わりを感じたり自然物に触れる機会を持った。また、地域の方から頂いたお気持ちを通し、地域の皆様に感謝し園行事にも生かした。
・感染症対策について コロナウイルス感染症をはじめ、感染予防と対策を行い感染症拡大防止に努めていく	4	市や地域の感染症の動向を把握し感染症対策をした。感染症が出たときには園内に掲示し保護者の方への周知を行った。日々、子ども・同居家族・職員の体調の把握と手指、玩具、保育室の消毒、換気を行い感染拡大防止と命を守るための対策に努めた。
●運営		
・行事のありかたについて コロナ禍における行事のあり方を検討し、育ちを表現できる最善の環境を模索していく	3	その時々で地域のコロナウイルス感染症の流行具合を把握し、保護者の方、子どもたちの安全を第一に考え行事の有無を考えた。子どもたちの日々の育ちを止めないよう、また、保護者の方に子どもたちの育ちを伝えられるよう、コロナ禍の中でもできることを模索し、行事を行った。
・保護者との連携体制について 保護者との関係のあり方を考え、「ともに子どもを育てる」関係性を育む	3	日々、連絡ノートや登園時、帰園時の保護者の方との会話から、保護者の方の子育てを理解し、応援することを役割としてきた。育ちの喜びや不安などご家庭と園とで共有、共感し、日々のお子さまに対してのサポートなど連携して行えるようにし「一緒に子育て」ができるよう努めた。園への信頼感を深めていただき、子育てのパートナーとして努めることができた。
・危機管理について 子ども及び職員の生命を守る自覚をもち、危険を予知・予測し、回避に努めると共に、発生時には被害を最小限にとどめることができるよう努めていく	4	保育室、園庭など日々確認し安全チェック表を利用し危険が生じないようにしている。日案を立て子どもたちの生活の中での危険予測をし環境設定を行った。また、日々の中で起こる危険だったことをヒヤリハットに記入、実際にけがを負ってしまったときには軽傷報告を記入し、職員でそれをもとに何故起こってしまったのか、どうしたら防げたのかを話し合い、反省点を踏まえ次の活動に生かした。

【総評】

平素より園運営におきましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
前年度、休園しておりましたが本年度から再開することができ、地域の皆様、保護者の皆様には大変感謝しております。今年度もコロナ禍の中での日常となりましたが、ご家族様と保育園とで連携してお子様の育ちを止めることなく共に子育てをさせていただくことが出来ました。今後もおひさまに集うすべての人の「居場所」になれるよう心を込めて努め、一層の信頼のおける子育てのパートナーとなれるよう尽力して参ります。 今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年3月27日
園長　　青木　聖乃

上記の園自己評価の結果を掲示ともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。